

=====
本メールマガジン[NEE Mail Magazine]は、経済教育ネットワークより会員の
皆様にお送りしております。
=====



◆ NEE Mail Magazine 113号 ◆

-----2018-6-1◆◇

六月、水無月、日本の大部分が梅雨なのに水がナイという皮肉な月です。ナイといえは、国民の祝日もナイ唯一の月。

学校では、中間考査が終わり、じっくり腰をおちつけて勉強に励めるはずですが、蒸し暑さに負けている教室もあるかと思えます。都市部ではエアコンが入っている教室もありますが、全国すべての教室にあるわけではなく、下敷きパタパタの風景が見られるようになる季節です。

そんな梅雨の季節、今月もネットワークの活動を報告するとともに、授業に役立つ情報を提供いたします。

【 1 】最新活動報告

18年5月の活動やニュースを報告します。

【 2 】イベントカレンダー・情報紹介

部会の案内、関連団体の活動、ネットワークに関連する情報などを紹介します。

【 3 】授業のヒント「となりの科目の先生と仲良くなる」

【 1 】最新活動報告

*18年5月に行われた活動を報告します。(開催順)

■札幌部会(No.19)を開催しました

日時:2018年5月19日(土) 14時30分~17時00分

場所:キャリアバンク セミナールーム

主な内容:参加14名

(1) 新井(上智大学非常勤)から今夏の経済教室の方向性、野間敏克先生(同志社大学)からは最近の大阪部会の取組について、山崎辰也先生(北見北斗高校)から10月9日に北見で開催するワークショップの内容について報告がありました。

(2) 山崎先生より、「二つの授業提案と授業づくりの舞台裏(第3案)」の資料と、「アメリカ経済教育における社会問題学習の論理」(中等社会科教育学会『中等社会科教育研究』第36号掲載)の論文抜刷をもとに、名古屋で行う経済教室の発表内容について原案提示が行われました。

授業内容は、昨年部会で報告した「国鉄分割民営化とJR北海道の経営問題」を、

「幸福」、「正義」、「公正」の観点から再構成し直したものとなっています。

(3) 杉田孝之先生(千葉県立津田沼高校)より、『朝日新聞』(2017年11月27日)の資料をもとに、授業設計の舞台裏について説明が行われました。また、名古屋経済教室での二人(山崎・杉田)の発表順や流れ等についても確認を行いました。検討では、杉田実践の内容を山崎実践の構造にあわせて再検討することになり、東京部会で再提案することになりました。

(4) 松澤剛先生(札幌市立開成中等教育学校)より、『『min-na』の幸福を創るための金融』という題目で、国際バカロレア(IB)ルーブリックを使った中学3年全員対象の「日経STOCKリーグ」の取組についての説明と討論が行われました。

(5) 新井より、「生徒と取り組む『価格の働きと金融』に関するメモ」の資料をもとに、田丸明史先生(札幌市立西陵中学校)と行う東京経済教室の発表内容の方向性について提案が行われました。田丸先生からは発表に向けた決意が語られ、今後、札幌部会の先生たちにより検討を行っていくことが確認されました。

(6) そのほか、以下の資料紹介が行われました。

川瀬雅之先生(札幌市立北翔養護学校):「次期学習指導要領に向けて」

(北海道札幌旭丘高等学校『研究紀要』より)

田丸先生:「価格の働きと金融」(東京書籍『新しい公民』の指導資料)

部会内容の詳細は以下をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/Sapporo/Sapporo019report.pdf>

■東京部会(No.100)を開催しました。

日時:2018年5月28日(月) 19時30分~21時30分

場所:慶應義塾大学三田キャンパス研究棟 446 会議室

主な内容:参加者 14名

100回目を迎えた東京部会では、「夏休み経済教室」の内容検討を中心に多くのレポートが提出されました。

(1)「夏休み経済教室」に関する報告が行われました。

鈴木深氏(東京証券取引所)と岡部ちはる氏(同)より、チラシの紹介および現在の取り組み状況の説明がありました。

6月1日に東証のホームページにアップして参加募集を開始します。また、案内を全国の中高に配送することになっています。なお、昨年同様に中学公民、高校「現代社会」「政治・経済」の教科書を見本として展示することになりました。

(2) 実践報告・教材提案関係が次のように報告されました。

a) 杉田、金子先生の授業づくりの紹介と検討

杉田孝之先生(千葉県立津田沼高校)と金子幹夫先生(神奈川県立三浦初声高校)より、東京部会有志メンバーによる検討を踏まえた「夏休み経済教室(東京高校)」での発表ストーリー案が紹介されました。

二人の教員が同一のテーマ(選挙、投票での政策選択)をどう作り上げていったのか、そのプロセス、舞台裏を紹介する内容です。

b) 杉田・山崎先生の授業づくりの検討

同じく「夏休み経済教室(名古屋)」で発表が予定されている、杉田先生と山崎先生(北海道北見北斗高校)の内容が札幌部会での検討を踏まえて、杉田先生から報告されました。

基本的な流れは、金子・杉田提案と同じですが、違うのは、山崎先生はJR北海道の路線廃止問題、杉田先生は子どもの貧困を実践例として紹介する予定です。

討論では、JR北海道の路線廃止を費用便益分析でどう捉えるかが問題になりましたが、今後、さらに検討を加えてゆくことになりました。

c) 河原、杉田提案の検討

「夏休み経済教室(東京中学)」で発表が予定されている、河原和之先生による「ウソッ！ホント授業の作り方ー日常の話題から“経済概念”を素材としてー」のプロット構想が杉田先生から報告されました。

授業の達人河原先生に弟子入りしたい若い先生が河原先生授業提案を踏まえて、質問を繰り返して、河原授業づくりの秘密に迫るという流れのものです。

d) 塙発表の検討

塙枝里子先生(都立府中東高校)から「夏休み経済教室(大阪)」で発表が予定されている「エコノミストとつくった三つの授業」の内容紹介がありました。

加藤一誠先生(慶應義塾大学)とコラボでつくっていった、時間、交換、公共の経済学を紹介するもので、そのうち「時間の経済学」を中心に、授業づくりの問題意識、方法、授業デザインなど授業づくりの舞台裏を紹介するという流れの発表になることが報告されました。

e) その他の報告

・加藤先生から、「夏の経済教室(東京中学)」で報告が予定されている、中山義基先生(京都府立園部高校・中学)の「エコノミストと経済の授業をつくる<働くことの意味ー働き方改革>を考えるー」に関する報告がありました。

・山田勝之先生(足立区立第四中学校)から、「夏の経済教室」で発表予定の内容の進捗状況の説明がありました。

・新井から、歴史シリーズで予定されている、篠原代表の講義「明治維新を経済からよむ」に関して、講義内容に関するメモの紹介がありました。

以上の内容の詳細は以下をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo100report.pdf>

【 2 】イベントカレンダー

* イベント予定です。(開催順)

■先生のための夏の経済教室を開催します。

2018年先生のための夏の経済教室の会場と日程(既報)は以下の通りです。

- 8月2日(木)名古屋中学向け 会場:ウインクあいち
- 8月3日(金)名古屋高校向け 会場:ウインクあいち
- 8月6日(月)大阪高校向け 会場:国民会館
- 8月7日(火)大阪中学向け 会場:国民会館
- 8月9日(木)東京高校向け① 会場:東証ホール
- 8月10日(金)東京高校向け② 会場:東証ホール
- 8月16日(木)東京中学向け① 会場:東証ホール
- 8月17日(金)東京中学向け② 会場:東証ホール

<今年を中心のねらい>

- ・各会場の共通テーマを「授業づくりのノウハウを提案する」としています。授業提案は、こんな授業を作りましたという紹介ではなく、授業をいかに作っていったか、そのプロセスやノウハウ、舞台裏などを紹介してゆきます。また、実践家とエコノミストとのコラボでの提案や講義を多く準備して、一段と深められた教室を目指します。
- ・東京会場では、「経済学で読み解く世界・日本の今、そして教育は」のテーマで、財政や金融、労働に関する講演も用意しています。
- ・今年も、新しい気持ちで、豊富でかつ深められた内容のプログラムを準備しました。ご期待ください。

* 定例部会のお知らせです。(開催順)

■東京部会(No.101)を開催します

日時:2018年6月27日(水) 19:00~21:00

場所:慶應義塾大学三田キャンパス研究棟 446 会議室

■大阪部会(No.59)を開催します

日時:2018年6月30日(土) 18時00分~20時00分

場所:同志社大学 大阪サテライト

大阪市北区梅田 1-12-17 梅田スクエアビルディング 17階

■札幌部会(No.20)を開催します

日時:2018年9月15日(土) 14時30分~17時00分

場所:キャリアバンク セミナールーム

札幌市中央区北5条西5丁目7 Sapporo55ビル5階

【3】授業のヒント

■となりの科目の先生と仲良くなる

(1)ある生徒のつぶやき

ある高校三年生のつぶやきから今回の話をはじめます。

生徒「センターで倫理、政・経うけるつもりなんだけれど、戦後の世界史や日本史がわからないから、理解出来ない部分があって先生、どうしましょう。」

先生「えっ、ここやっていないの？」

生徒「はい、世界史は第一次世界大戦で終わって、私は理系だからそれ以上勉強していないんです。日本史も選択だと戦後史をやるみたいだけれど、私は必修だけだから現代のことがわからないんです。」

私「…」

こんな生徒のつぶやきを聞いたり、質問されたりした高校の先生は結構いるのではと思います。

経済学習は経済の仕組みを学ぶといっても、その仕組みがここまでどう出来てきたのか、基本的な事実やその変遷をしらないといくら概念や理論を学んでも土台がぐらぐらした上に建つ家のようなものになりかねません。

とはいえ、限られた時間で歴史をおさらいするわけにもゆかず、まあ、歴史の教科書を読み直しておきなさいよとか、政・経の教科書にも歴史が触れてあるからそこを読んでおきなさいくらいの話で終わってしまうことが多いのではないのでしょうか。

歴史の担当者からも同じことがいえます。

例えば、世界史の自由貿易や金本位制の箇所や日本史の金解禁の箇所。これは経済の分野だから政・経でやるだろうからここは簡単に触れておくだけにするからね、というような発言もあるでしょう。

科目の狭間に落ちてしまい、困っているのは生徒ということになりかねません。

(2)たてとよこの突き合わせを

専門性を重視してきた今までの高校では、この種のたこつぼ化は珍しいことではありませんでした。そのすきまを、出来る生徒は自分で埋めたり、予備校の講義などできたのが実情です。

このようなことが起こらないためには、社会科、地歴科、公民科の教員同士がきちんとした情報交換やすりあわせをしておけばよいのですが、年間授業計画も形式化していて、なかなかそれが出来ないから先の生徒のつぶやきが出てくるわけです。

その対策には、たて(時代)とよこ(テーマ)を突き合わせた表をつくれればよいのですが、それには教科同士の連携やリーダーシップを握る人が必要になります。

文科省もそういう空白に落ち込むことがありうるということで、中学校までは「小中学校社会科における内容の枠組みと対象」という表をつくり、学習指導要領の解説に掲載しています。(中学校解説社会編だとp184-185)

ただし、高校では、科目の学年配当が学校によって異なるので、この種の一覧表を作成することは各学校の課題ということになります。

(3) シラバスをつくる

一覧表をつくらなくても、科目同士の情報がわかり、自分の授業計画を「見える化」するためには、シラバスをつくることです。

シラバスと言っても、そんな大変なことでなくともよいので、定期考査間に何をやるのか(実質 10 時間程度)を一覧表にしておけばよいのです。

それを関係の先生と交換しておけば、この科目では今ここをやっていて、この部分は抜かされているなというような情報がわかります。

シラバスづくりで役に立つのが、教科書のもくじです。

見開き1テーマの教科書では、記述が薄いところ、濃いところがまだらに入っていますから、それを見極めながらストーリーをつくることができれば、自分の授業計画ととなりの科目との照合もでき、一石二鳥です。

(4) もっと簡単な方法は

そんな形式的なことをやらなくともできること。それは、となりの科目の先生と雑談をすることです。「私はこんなところをやっているけれど、あなたはどうか?」「ここはやっていないので、よろしく」などの話できればいいんです。

そんな風通しのよい関係ができていれば、完全とはいかないでしょうが、生徒が冒頭のとつぶやきを発言しなくてもすむようになることでしょう。

ちなみに、先月の本欄で紹介した神奈川の金子先生。これまでは小さな学校だったので、社会科は一人。世界史、日本史、地理、現代社会、政治・経済などすべての科目を担当していたとのこと。

たくさんの科目を担当する大変さはあっても情報の空白は生まれないという意味では、最強のシラバス教員(man of syllabus)かもしれませんね。(新井)

【 4 】編集後記(みみずのたはこと)

日大のアメフト事件が世間を騒がせています。私は、現役最後の学校でアメフト部の第4顧問をやったことがあります。アメフトの魅力はなんといっても組織戦、頭脳戦であるところです。今回は、その組織と指導のあり方が問われています。アメフト事件を経済教育の観点から取り上げたらどんな問いがだせるか、また生徒はどんな回答を示すか、興味深いものがあります。(新井)

=====
登録に心当たりのない方、今後配信を希望されない方は下記会員ページよりお手続き下さい。

<http://www.econ-edu.net/aboutus/contact.html>



編集・発行 : 経済教育ネットワーク

----- (C) Network for Economic Education ◆◇